

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	都市計画教育小委員会	主 査 名：根上彰生 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画本委員会	委員長名：鳴海邦碩 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	都市計画が大きな変革期にある現在、これからの新しい都市計画学への社会的ニーズを背景として、「専門家育成のための計画技術教育」「まちづくり立案に係わるコーディネータ教育」「市民を啓発する都市文化教育」を柱として、都市設計・計画教育を再構築する方向性を検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：根上彰生(日本大学)、委員：野嶋慎二(福井大)、鶴心治(山口大)、有賀隆(名古屋大)、遠藤新(金沢工大)、小林正美(明治大)、野澤康(工学院大)、野中勝利(筑波大)、堀田祐三子(神戸大)、三宅諭(岩手大)、岡絵里子(大阪大)、加藤浩司(有明高専)、三輪律江(横浜国大)、井上芳恵(尚綱短大)	
設置 WG (WG 名：目的)	都市設計・計画教育方法WG： 本WGは、新たな都市設計・計画教育プログラム構築のために、それに合わせた具体的な教育方法、教材の開発を行うことを活動目的とする。	
2005 年度予算	230,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物(シンポジウム資料等は除く)	無し
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. (名称) 2005 年度大会オーガナイズドセッション 「まちづくり実践教育の展開」 参加者数 50 名 (資料名) 選抜梗概 8 編 2. (名称) 学生主体によるシャレットワークショップ 「大阪・平野のまちづくりデザインを考える」 参加者数 40 名
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 昨年度より検討してきたまちづくり実践教育の方向性についてオーガナイズドセッションにて議論し、各地の実践教育事例を整理できた。 2. 学生主体のシャレットワークショップを大会時に合わせて開催し、地域への提案を行うと同時に大会期間中にプレゼンテーションを行った。
委員会活動の問題点・課題	シャレットワークショップを開催し、学生、地域からの評価は高いものであった。しかし、運営側の教員や地域の協力、経済的な負担等の課題が多数あげられた。継続的に行う場合は、効率的、経済的な面を再検討し運営側の体制づくりを整理する必要がある。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。